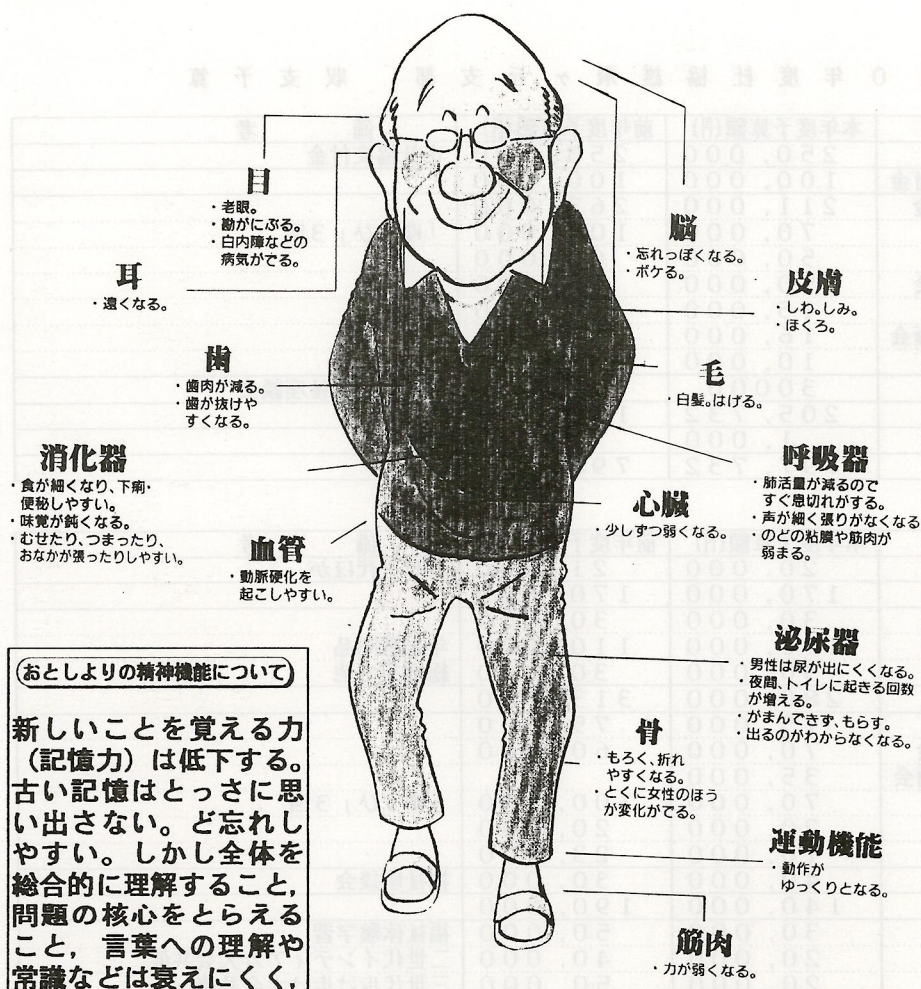


心の変化

- がんこになり、融通性がなくなる
- 自己中心になる
- 疑い深くなる
- 話したがる
- 寂しがる
- 不安がる
- 物をため込む
- からだに関心をもつ
- あきらめ
- 不精
- 短気

おとしよりの

心とからだの変化



おとしよりの精神機能について

新しいことを覚える力(記憶力)は低下する。古い記憶はとっさに思い出さない。ど忘れしやすい。しかし全体を総合的に理解すること, 言葉への理解や常識などは衰えにくく, かえって上昇する人もいえる。ど忘れがあっても「ボケた」という言葉は禁句。しじゅう言われると自信をなくし, よけいボケる。

からだの変化

平成10年度各務原市社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部役員名簿

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
支・部長	多和田英夫	雄飛ヶ丘町8-17	82-3610	民生児童委員 那加東地区連合自治会 自治会連合会副会長
副支部長	大山安太郎	入会町3-35	83-1951	自治会連合会副会長
	久富 眞	不動ヶ丘2-150	83-7069	自治会連合会副会長
会計 書記 書庫 推進員	若山 文子	雄飛ヶ丘町18-2	82-6766	民生児童委員
	今西 貞子	入会町4-47	89-0760	〃
	浅野 敏子	雄飛ヶ丘町10-14	82-8319	〃
	大川英美子	〃 13-19	82-2099	〃
常任理事	後藤 寿	〃 18-22	82-0683	自治会連合会会計 雄飛10自治会会長 アトバイザー
	長田多美男	〃 18-30	83-1502	雄飛1自治会会長
	丹羽 常夫	〃 10-7	83-1086	雄飛2自治会会長
	日比野 司	〃 136	82-1382	雄飛3自治会会長
	和田 義信	〃 7-2	82-8608	雄飛4自治会会長
	杉本 正治	〃 11-55	82-1559	雄飛5自治会会長
	上田 修治	〃 13-21	82-3428	雄飛6自治会会長
	北村 金次郎	〃 15-7	83-3422	雄飛7自治会会長
	若山 次郎	〃 26-27	82-3486	雄飛8自治会会長
	土屋 太郎	〃 28-1	82-7352	雄飛9自治会会長
	中野 軍蔵	〃 24A204	83-2305	雄飛10自治会会長
	樋田 光彦	昭南町45	82-6740	昭南町自治会会長
	安藤 忠夫	入会町2-90	82-4950	入会町1・2自治会会長
	小林 義行	入会町4-82	82-4787	入会町4自治会会長

社協雄飛ヶ丘支部だより

ゆうひ



発行 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫
発行日 平成10年5月30日

「あいさつ」

支部長 多和田英夫



昨年度は社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部の行事には、自治会長様をはじめとして会員の皆様方には多大のご理解とご協力をいただき、事業計画を無事遂行出来得ました事を深く感謝申し上げます、厚くお礼申し上げます次第でございます。

本年度も昨年度同様にモデル事業推進支部として、より雄飛地域に根ざした福祉活動を実践し、心豊かな

ふれあいの街づくりを目指して頑張って参りたいと考えております。

ご存じの事とは思いますが、最近の新聞などにも毎日のように報道されているように、高齢化が進むと同時に出生率の低下により今では65才以上の老人人口が15才以下の年少者の数を上回り、今後の高齢者福祉に益々の不安が生じて来るように思います。

何卒今年度も皆様方の協力とご尽力により、地域福祉の向上を目指して一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

社協支部総会を開催

〔4月26日(日)〕

平成10年度の支部社協の総会を開催いたしました。近年は、新任の理事さんが多くなり、社協活動についてのご理解をいただくために市社協より荒川係長さんにご出席をお願いして最近の社協活動状況等についての説明とごあいさつをいただきました。

その後議事に入り、新年度の役員の紹介、9年度の事業報告および決算報告を行いご承認をいただきました。続いて10年度の事業計画案および収支予算案につ



いてご審議をいただき、いづれも原案通りご承認いただきました。本年度は何かと皆様方にはご無理をお願いさせていただきますが何卒よろしくお願致します。

末尾となりましたが、総会資料を掲載いたしましたのでご精読の上ご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。

平成10年度杜協雄飛ヶ丘支部 収支予算

収入の部			
科 目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	備 考
1 交 付 金	250,000	250,000	市社協交付金
2 モデル推進支部交付金	100,000	100,000	
3 メニュー事業助成金	211,000	263,000	
1) 支部だより	70,000	105,000	「ゆうひ」3回
2) 高齢者を囲む会	50,000	60,000	
3) 独居老人を囲む会	50,000	60,000	
4) 会員募集説明会	15,000	13,000	
5) 親子ふれあい映画会	16,000	15,000	
6) 健康づくり教室	10,000	10,000	
4 その他の助成金等	30,000	30,000	歳末特別福祉座談会
5 繰 越 金	205,732	154,073	
6 雑 収 入	1,000	1,000	利息ほか
合 計	797,732	798,073	

支出の部			
科 目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	備 考
1 事 務 費	20,000	21,000	コピー代ほか
2 共通実施事業費	170,000	170,000	
1) 福祉教育事業費	30,000	30,000	
2) 友愛訪問事業費	110,000	110,000	年末慰問品
3) 支部育成事業費	30,000	30,000	総会その他
3 メニュー事業費	280,000	313,000	
1) 高齢者を囲む会	75,000	75,000	
2) 独居老人を囲む会	70,000	60,000	
3) 親子ふれあい映画会	35,000		
4) 支部だより	70,000	100,000	「ゆうひ」3回
5) 健康づくり教室	20,000	20,000	
6) 会員募集事業	10,000	23,000	
4 歳末特別事業費	40,000	30,000	福祉座談会
5 その他の事業費	140,000	190,000	
1) 啓発事業	30,000	50,000	福祉体験学習
2) ふれあい事業	20,000	40,000	二世代インディアカ大会共催
3) ふれあい事業	20,000	50,000	三世代歩け歩け大会共催
4) 生きがいづくり事業	50,000	50,000	三世代体育大会共催
5) 生活環境づくり事業	20,000	0	福祉講座
6 予 備 費	147,732	74,073	
合 計	797,732	798,073	

平成10年度杜協雄飛ヶ丘支部 年間活動計画

年月	活 動 内 容			
10年 17	常任理事会	10月 2	常任理事会	
4月 26	支部総会	22	高齢者を囲む会	
5月 22	常任理事会	29	第三回福祉講座	
30	支部だより「ゆうひ」発行	11月 3	雄飛体育大会(共催参加)	
6月 7	会員募集説明会(自治会長)	8	市民清掃参加	
12	常任理事会	8	歩け歩け大会(共催参加)	
14	インディアカ大会(共催参加)	13	常任理事会	
29	第1回福祉講座	20	市福祉大会参加	
7月 5	会員募集説明会	12月 20	年末友愛慰問品配布	
17	常任理事会	11年		
24	車椅子福祉体験学習	1月		
26	市民清掃参加	2月 12	常任理事会	
8月 24	親子ふれあい映画会	15	支部だより「ゆうひ」発行	
26	第2回福祉講座(地域介護講習会)	3月 4	ひとり暮らし老人を囲む会	
9月 6	市福祉フェスティバル参加	19	常任理事会	
30	支部だより「ゆうひ」発行			

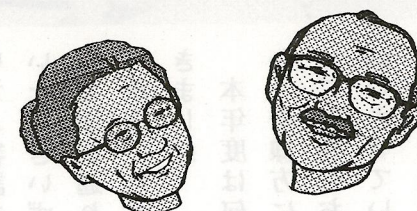
ひとり暮らしのお年寄りを囲む会

(3月5日 木)

ひとり暮らしのお年寄りをお招きし、楽しく過ごしていただくために「ひとり暮らし老人を囲む会」を開催しました。

当日は約60名のお年寄りの参加を得ました。今回も女性民生委員、近隣ケアグループ、ボランティアの皆様方による心づくしの昼食をご用意いただきました。その後もボランティアの皆さんによる楽しいマジックや踊り、また、ギターの伴奏による懐かしい歌を全員で合唱するなど楽しいひとときを過ごしていただきました。食事を作っていただきました。

だいた皆さん、そして出演をいただいた皆さんには紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



ひとり暮らしのお年寄りを囲む会の様子

社協 社会福祉協議会 (社協) の活動を紹介します コーナー

社協(社会福祉協議会)をご存じですか
社会福祉協議会では、地域でのさまざまな福祉課題に対し、きめ細かな福祉活動を展開しています。寝たきりのお年寄りの入浴介助や障害者の外出介助など地域で積極的な住民の参加による活動を行っています。

- 1 支部社協活動**
市内17の連合自治会を単位に支部社協が組織されています。それぞれの支部では、地域にあつた福祉活動が展開されています。
- 2 在宅福祉活動**
訪問入浴サービスなど在宅福祉サービスを提供しています。これらの事業には、多くのボランティアの皆さんが参加しています。
①訪問入浴サービス ②在宅介護者のつどいなど
- 3 ボランティア活動**
小さい時から思いやりの心や自然にボランティア意識を身につけてもらおうと次の各種ボランティアの養成等を行っています。
①小・中学生ボランティア塾
②福祉協力校・福祉推進校の活動
③手話・点訳・要約筆記・音訳ボランティア講座
④地域介護講習会・介護基礎講座など
⑤企業向けボランティアスクール
⑥障害者とボランティアの交流会 など
- 4. 広報啓発・大会事業**
①福祉啓発塔設置、PRパネル作成、PRビデオの制作・貸出、社協だよりの発行
②福祉フェスティバル、社会福祉大会、身体障害者運動レクリエーション大会の開催

社協の福祉サービス

身体障害者、高齢者などの福祉は、これまで施設を中心に行われてきましたが、高齢社会の急速な進行によって、施設福祉のほか、住みなれた家で公的福祉サービスを受られる地域福祉、在宅福祉の充実が必要となつてきています。

地域の人たちが在宅での「サポート役」を在宅福祉サービスは、家



地域の人がサポート役

族、親戚、専門家の連携による援助のほか、地域の人々が見守り役として、また、地域にこよる側面的な支えが必要となります。地域の人々の理解と協力があつてこそ、より有意義なサービスとなります。

【車椅子の短期貸出・介護用品の展示】

通院時や外出時の介助などに車イスの貸出を行っています。ただし、貸出期間は1ヶ月以内です。



車椅子の短期貸出

【生活福祉資金の貸付】

低金利で生業資金や修学資金など公的な貸付を行っています。例えば、身体障害者などの自動車の購入資金や就職時の技能・技術の修得のための資金など各種の貸付制度があります。お気軽にご相談ください。

【訪問入浴サービス事業】

□対象者
自宅での入浴が困難な寝たきりのお年寄りや身体の不自由な方を対象に行っています。
□実施方法
簡易浴槽をベットの脇に搬入し、その場で入浴してもらうもので、1人月3回程度の利用ができます。使用する湯は利用者で用意していただきます。毎週月～金曜日に実施しています。



訪問入浴サービス事業



訪問入浴サービス事業

□申し込みは
所定の申請書や主治医の診断書等を添えて市高齢福祉課にお申し込みください。利用は1回500円です。

【心配ごと相談所】

家族や離婚問題、人権や財産、相続問題など家庭内の悩みごとについて相談窓口を設けています。
(利用方法)
毎週月・水・金曜日の午後1時から4時まで市総合福祉会館2階の相談室で開いています。(予約は不要です。)

社協雄飛ヶ丘支部だより

ゆうひ

平成10年度第2号

発行 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫
発行日 平成10年10月1日

「あいさつ

支部長 多和田英夫

いつもながら、社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部の活動については、皆様方の多大なご理解とご協力により、当初計画いたしました行事も本日までに順調に消化してまいりました。

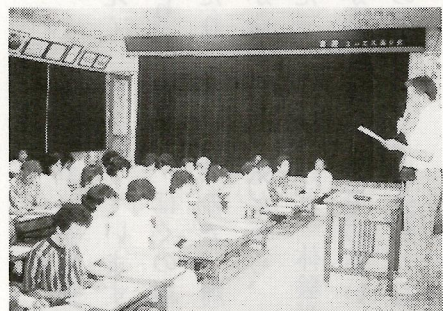
「これもひとえに会員の皆様のご尽力の賜ものと感謝申し上げる次第です。これから年度の後半に入りますが、何卒倍旧のお力添えをいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

幸いに前半の行事にご参加いただきました方々より、

第1回福祉講座を開催 (6月29日)

本年度も各自治会長さんのご推薦により、特に福祉問題に対して心ある方々にご参加いただき福祉講座を実施致しました。

まず、市の社会福祉協議会より荒川係長さんに、現在の社協の実情と活動等のご説明をいただきました。次に、市高齢福祉課の斉藤



第1回福祉講座のようす

課長補佐から、平成12年より実施される「公的介護保険制度」の内容を中心にお話しいただきました。参加者の方々は、終始熱心に耳を傾けられ、今後の福祉活動の実践にも大いに役立つものと期待いたしました。

【参加者からの感想文】

「福祉講座に参加して」

亀ヶ谷周子

今年度、近隣ケアーに加えていただき、社協についても福祉講座でその役割を学ぶ良い機会を得ることができました。とはいっても、福祉講座は三回開講のうち第一回が終わっただけですが・・・。

今現在、又、今後の高齢化社会を考えたときに、「社協の果たす役割の重要性について」、「平成12年より始まる介護保険制度について」が第一回講座の内容でした。いずれ自分にも訪れる高齢者福祉の問題をもっと身近に感じ、心しておけと言われていたようでした。今後の講座の中には、実際に介護活動にあたる為のものとして、実践練習があると聞いており、自分の為、又、社会に役立つ自分になる為に習得したいと思っています。

「第1回福祉講座に参加して」 北村 孝子
高齢社会に対してのいろいろな話を聞き、自分達にもいづれ来るかと思うと考えさせられる思いでした。

市では介護福祉が、自分で考えていたことよりも進んでいるので、年老いても安心した思いでした。本当に良い話を聞き勉強になりました。

車椅子の体験学習会 (7月24日)

車椅子を操作し、乗っていただくことを実際に体験していただき、車椅子の機能や使う人の気持ちなどを知っていただくことを目的に、昨年度から実施させていただいたところ、たいへん好評でしたので、小学校高学年にに参加していただいて今年も実施致しました。

当日は、お母さん方3名を含め約30名の方のご参加を得て、現在、車椅子にて生活をされておられる三井町にお住まいの岩井千佳さんをお招きして、日頃の体験談をお話しいただきました。その後、車椅子の操作の説明を聞いたのちに、二人一組になって実際の走行練習を行いました。また、アイマスクを着用し目の不自由な状態でペアの歩行を

行いました。

それぞれが、日頃考えていたよりむずかしかったり、或いは怖い思いであったりとの参加された皆さんからの声でした。参加された三人の小学生とお母さんから車椅子の体験についての感想を寄せてくれました。



子どもたちも「車椅子」を体験

【参加者からの感想文】
「車いすの体験学習に参加して」 六年 西本 崇志
ぼくは、少しの間、車いすで生活した事があるので、

車いすの乗り方は、よく知っています。

ぼくの場合は、病院だったので、周りのみんなが病気だから、気にしなかったけど、体験学習の時の人は、外での車いす運転だから、自分だったら、少し気にすると思います。

でもその人は、今では、外にさんぽに行くのが好きだとおっしゃっていました。それほど、車いすのことを気にしてないという事だと思いました。それは、外が自分たちに対して便利になり、一般の人と変わらないう事ができるようになったからだと思います。

便利になったといっても、ぼくたちの方が自由な歩行をしているのだから、多少、ぼくたちが不自由な歩行になったっていいから、体の不自由な方が少しでも便利

になる物を町中に作ってほしいと思います。

「車いす体験学習に参加して」 柴山 京子
息子と娘と一緒に、初めて参加させていただきました。

実際に、車いすに乗った引いたりしてみると、わずか三・四センチの段差でもとても不便な事だと実感しました。また、アイマスクをして歩いてみると、怖くて、全く、一人では歩けませんでした。

今日学んだ事を、知識の蓄積に終わらせないで、日常の社会生活の中で実践していけたらと思います。そして、彼等の目線で物事が考えられる自分でありたいとも思います。手助けできることは何か、お互いが充実した人生を送っていく上

前回の「ゆうひ」第1号に掲載致しました3月5日に開催しました「一人暮らしの老人を囲む会」にご出席いただきました鈴木賀奈江さんより、こんな感想文をいただきましたのでご紹介させていただきます。



一人暮らしの老人を囲む会での踊りの披露

「一人暮らしの老人を囲む会」に出席して」鈴木賀奈江

ボランティアの皆さんにはいつもたいへんお世話になって居ります。ありがとうございます。心より感謝致して居ります。その日はたいへん楽しく過ごさせていただき、また、朝早くから準備の為に働きくださって、お食事をこしらえていただき、私は本当にありがたうと思って帰りました。また、昔の歌をギターで皆さんと一緒に唄わせていただき心から楽しく過ごさせていただき、本当にうれしく思っています。また、皆さんが温かくお世話くださって、私は何も申し上げることなく、ただ心にて感謝致して居ります。本当にありがとうございます。

「配食サービスを受けて」
私も2月よりお弁当をいただいていたのですが、いつ

も楽しみに待つて居ります。先日と一緒にいただいたお手紙に私の今まで知らなかったことを教わりました。それはドクダミをトイレに入れると匂いが取れるというのでした。私もお風呂で使っています。水に差すだけでは長持ちしませんので、土に植えておきます。

これからも色々教えていただき、自分にできる事を少しづつやって、又、他の人にも話していこうと思っています。

私はいたらない者にて、親切にしてくださいますボランティアの方々を身内のように入ります。道で会っても言葉をかけてくださいますことは、私にも勇気が出ます。これからも皆様には何かとお世話になります。どうかよろしくお願い申し上げます。

「短編 佳木 俊俊 記」

今年6月、4月に須衛にオープンした「福祉の里」を見学する機会があったのでAさん夫婦と三人で出かけてみた。

「福祉の里」では、介護の必要なお年寄りがサービスを受けておられるとともに、肢体の不自由な子、知的障害を持つ子、知的障害のお母さんとも懸命にリハビリに頑張っている姿が印象的で胸が熱くなった。そんな折に、福祉の里の保母さんから「肢体の不自由な子のリハビリにはハンモックがとても効果的なんです。福祉の里にあればいいんです。」との説明があった。

「私、保母さんから話があったハンモックを夫婦で寄付したいと思うのだが。」との申し出があった。後日、福祉の里にその旨を伝えると、保母さんたちは大いに感激された。そして、去る七月七日の七夕の日、アメリカ製のリハビリ用ハンモックは福祉の里に手渡され、リハビリ器具として、また、動く遊具として福祉の里の多くの子どもたちに大切に使われているという。(T)

で大切な事は何か、自分の頭でじっくり考えたいと思う。

「車いす」 柴山 義康
車いすに乗っている人は大変だと思いました。これからは親切にしたいです。

「車いすの体験学習会について」 笠原 幸菜

私は最初、車いすなんて興味なくて、行くのもめんどうでした。でも、足が不自由で車いすに乗っていらっしやるいわいちかさんの話を聞いていて、少しずつ興味を持ってきました。街の至る所にある、ちょっとした段が、車いすの人にとってはとても大変なことや、いわいさん自身、車いすの乗っていることを苦に思ったことが一度もないということ、外に出るのがとても好きで、人に声をかけ

られるのがとってもうれしい気持ちになるということ・・・。いわいさんの話は、とても心に残りました。

次は車いすの押し方を教えてもらいました。段に納まっている所を、どうやって押してあげるのか、ずっと疑問に思っていたことなので、しんけんに見ていました。

そして、実さいに車いすを押してみるとほんとに簡単にできました。

次は目かくしをして目が見えないようにします。そして目かくしをしないもう一人の人に、誘導してもらったということをやりました。障害物として、段のある所を通らなければいけません。

最初は私が誘導しました。自分の肩を持たせて、ゆっくり歩きました。段のある所では、

「段がありますよ。段をおりますよ。」

と声をかけました。みんな、目が見えないと意外にこわいと言っていました。今度は私が目かくしをしました。やっぱりどこに何があるかぜんぜん分からなくてこわかったです。

私はこの「車いす体験学習」に来てよかったと思います。ずっと疑問に思っていたことなど、よく分かって勉強になりました。ここで勉強したことをいかして、どんな車いすの人や見えない人に声をかけたいです。

野外福祉映画会を開催 (8月24日)

当日は、天候にも恵まれ、多数の方(約百四十名)にお集まりいただき、雄飛ヶ丘公園において映画を観賞していただきました。

映画は、戦後最大の震災となった阪神・淡路大震災を原作にして作られたアニメ映画「地球が動いた日」を上映しました。この映画を通して、ややもすると軽んじられている社会的風潮がある中、「命の尊さ」や「人間の真の優しさ」などを感じ、学んでいただけたものと思っています。また、この映画をテーマにして親子の対話が進んだご家庭も多かったのではないかと思います。

第2回福祉講座を開催 (8月26日)

今回は地域介護を主体にした講座を開催しました。40名を超える多くの方々にご参加いただきました。講座では、「痴呆のお年寄りを抱えている佐藤家の出来ごと」というビデオを見て



第2回福祉講座のようす

いただき、その内容について四つのグループに分かれてのグループワークを行いました。

討論結果をグループの代表を務めていただいた方から順に発表していただき、それぞれの問題点や、「私ならこうしたい」といった意見について、市の保健婦の川井さんと介護支援センターの佐分さんより具体的なアドバイスをいただく形で進められました。

皆さんの真剣な問題提起であっただけに、今後の介

護にも大いに役立っていくものと思います。

第1回に続いてご参加いただきました人もたくさんお見えになりました。厚くお礼申し上げますとともに、今後の会合にも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

【参加者の感想】
「地域介護講習会に参加して」 杉浦 佳子

私達は、日常「痴呆」、いわゆる「ボケ」という言葉を耳にし、口に出すことは多々あると思います。

痴呆の初期症状の見分け方、それを発見した時の対応など、この講習会で勉強させていただきました。

全ての高齢者が痴呆になるとは限らないということ、老化に伴う物忘れと、痴呆とは違うということです。

痴呆とは、老いの一つの形であり、病気であるということですので。それを家族や周囲の人々が認識し、その人を丸ごと受け入れ、間違ったことをしても、強い口調で否定したり、訂正したりするのはなく、優しく接することが必要だということなのです。

しかし、現実に身内に痴呆が起きたら、果たして優しく理解ある介護者になれるだろうか。もっともっと勉強が必要な気がしてきました。

「地域介護講習会に出席して」 奥村 康子

年を取った両親（84才と79才）を抱え、日頃から痴呆に関心を持っていたので、興味深く参加させていたのだ。

痴呆の症状には、

一、昔の事はよく覚えてい
るのに、新しい事は覚え
られない。
一、感情の起伏が激しい。
一、徘徊（自分の家を探し
て。）

一、幻に怯える。
一、日時、自分の周りの事
が分からない。

一、日常的な事が一人で
できない。

等であるが、残っている能力を生かすよう、無理のない程度に本人にさせ、世間との接触が必要であるが、人間は死ぬまで尊厳を持ち続けたいので、間違いを訂正せず、受け入れる事が大切だと分かった。毎日の事なので難しいとは思いますが、温かいまなざしで包み込んであげられる人間でいたい。



「福祉の里」を紹介します

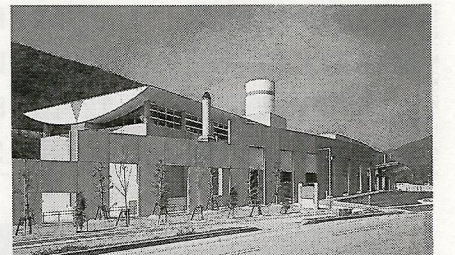
平成10年10月26日、社協雄飛ヶ丘支部の行事「福祉講座」では、参加者全員で須衛稲田にある「福祉の里」の見学を行いました。この紙面をお借りして「福祉の里」の成り立ちや施設などをご紹介します。

各務原市の福祉施設の拠点としての役割を

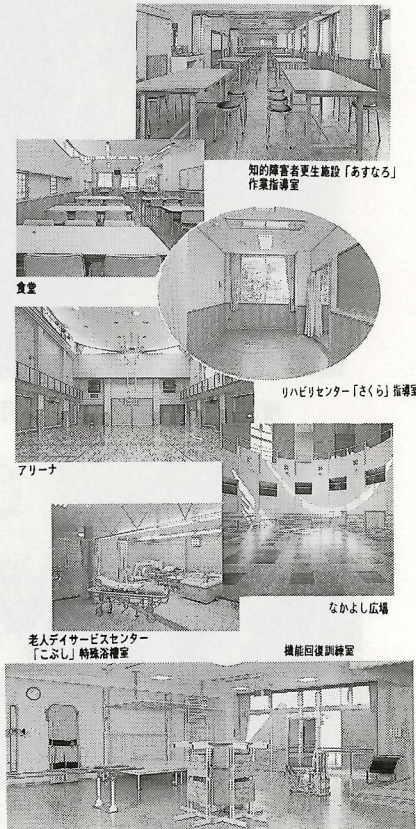
この各務原市「福祉の里」は、長年にわたる多くの皆様のご要望に応えるため、多様化するニーズへの対応及び心身障害者（児）の一元的援護体制の確立を目標に建設を進められ、各種福祉団体の協力で、平成9年4月に各務原市須衛地区に一部開所され、平成10年4月に本格運営が始まりました。

この施設は、地域福祉センター、知的障害者更生施設、知的障害児通園施設、肢体不自由児通園施設の4施設からなる複合施設であり、その全ての施設が通所形式をとり、またボランティアの協力による配食サービスを行うなど、地域、家族との連携を持った在宅福祉を援護する施設となっています。

「福祉の里」は、各務原市の福祉施設の拠点としての役割を担う施設であるといえます。

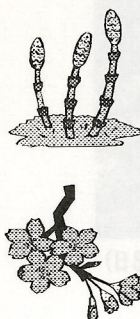


「福祉の里」全景



福祉の里の各種施設

設置者	各務原市
管理運営	社会福祉法人 各務原市社会福祉事業団
所在地	各務原市須衛稲田7番地
敷地面積	12,603㎡
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート (一部鉄骨造)3階建
建築面積	2,721㎡
延床面積	5,128㎡
開所日	平成9年4月1日
休館日	毎週火曜日



★編集後記★
過日、雄飛ヶ丘地区の卒業式が行われた。招かれて参加する機会を得た。自分の家族には卒業生がいないので、保護者として熱心な参加者として、冷静な第三者として、お話を聞くことができた。感じたのは、一つは、何かと話題の多い中学生と、いわれるが、なかなかどうして、一つは、今年一九九九年、この卒業生たちは、一九〇〇年代の最後の卒業生、そして来年の卒業生、さらには再来年の卒業生、二十世紀最初の卒業生となるのか、などと感じた感慨深いお話を聞いた。雄飛ヶ丘中学校卒業式であつた。二十世紀を生きたこの子たちには、どんな時代が待ち受けているだろうか？という疑問も、今、本当に世紀の変わり目を迎えていることを実感した卒業式であつた。(T)

社協雄飛ヶ丘支部だより

ゆうひ

平成10年度第3号

発行 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫
発行日 平成11年3月31日
今回の特集：平成10年度後半の行事を振り返る

「あいさつ

支部長 多和田英夫

自治会長様をはじめとする会員各位のご協力により、平成10年度の社協支部としての活動もつづがなく終了させて頂いたことが出来ました。たいへん有り難く、厚く御礼申し上げます。

4月からは新しい役員の方々と協力のもと、新年度がスタートをきることになるものと思ひます。何卒、相変わらぬご尽力と倍旧のお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

私の力不足にて皆様方にはご不満も多くあったとは思ひますが、何卒お許しいただきますようお願い致します。

一年間本当にありがとうございました。

平成10年度後半の

支部社協行事を振り返る

平成10年度後半の行事を報告いたします。

第3回「福祉講座」を開催

(十月二十六日)

今年度の福祉講座の最終行事として、当日は参加者全員で須衛稲田にあります「福祉の里」を見学いたしました。

「福祉の里」では、前田所長さんにご案内いただき、各施設をくわしく説明していただきながらの見学でした。参加者のほとんどが初めての体験にて、それぞれの思いを感じながら一日を有意義に過ごせたことと思います。

「高齢者を囲む会」を開催

(十月二十八日)

雄飛ヶ丘公民館に多くのお年寄りをお招きして「高齢者を囲む会」を開催いたしました。この会の運営では、毎回のことながら、女性の民生委員さんやボランティアの方々の協力により、心のこもった昼食の用意をいただき、会を楽しみに待っていただいていた多くのお年寄りの方々に参加をいただきました。

また、例年通り、雄飛ヶ丘保育園の園児のみなさんによる可愛らしい演技の披露や、園児とお年寄りの交流などで心温む「高齢者を囲む会」となりました。ご参加いただいた高齢者の方々が楽しい一日を過ごしていただけたことと思います。

雄飛ヶ丘地区誕生六十周年記念式典にて

支部社協に森市長より感謝状が授与

(十一月二十二日)

11月20日、雄飛ヶ丘地区誕生60周年を記念した式典が、自治会連合会の主催で雄飛ヶ丘公民館にて開催されました。当日は来賓として出席された森真各務原市長から雄飛ヶ丘支部社協の日頃の活動に

写真で振り返る今年度後半の支部社協行事

第3回福祉講座	10月26日
高齢者を囲む会	10月28日
市長感謝状授与	11月22日
健康づくり教室	12月17日
歳末福祉座談会	12月17日
独り暮らしの老人を囲む会	3月4日



唄と踊りでお年寄りを慰労（3月4日）



健康づくり教室で快汗（12月17日）



介護の実体験の発表に真剣な参加者の皆さん（12月17日）



たくさんのお年寄りが参加（3月4日）



お年寄りがマジックに感心（3月4日）

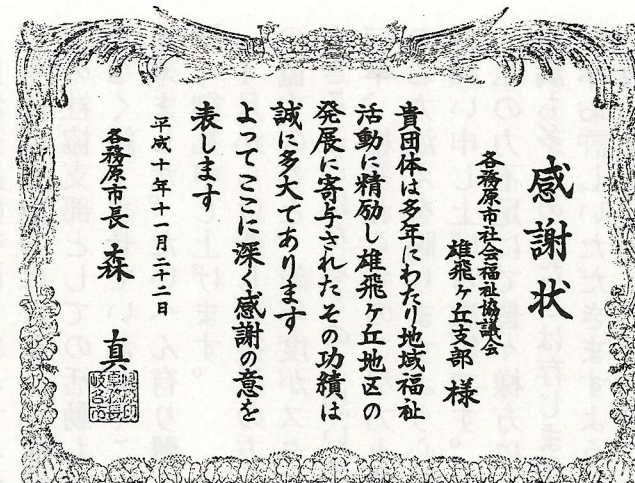


園児のもてなしにお年寄りもご満悦（10月28日）



ボランティアの心がこもる手作り弁当に舌鼓（10月28日）

「健康づくり教室」を開催
（十二月十七日）
いつものように、糠塚先生にご指導いただきながら、「健康づくり教室」を開催しました。参加された方々には、自分自身の新しい発見をしながら、軽い運動を消化し、快い汗を流し、健康の大切さを改めて実感していただけたことと思います。



森市長より支部社協に授与された感謝状

対して感謝状が授与されました。

「歳末福祉座談会」を開催 （十二月十七日）

本年初めて計画いたしました「歳末福祉座談会」を行いました。皆様方により日頃の身近にある福祉体験や介護の実体などの発表をしていただき、これに基づいた話し合いやお互いに対する心構えなどの考え方についての座談会となりました。今後の介護の在り方等についての多少の参考になった部分もあるのではないかと考えます。

「年末友愛訪問」 （十二月二十七日）

今年度も例年の通り、独り暮らしのお年寄りの方々への「年末友愛訪問」を行いました。自治会長さんにお手伝いいただき、対象となる方々に年末友愛慰問品をお届けいたしました。多くの方々からお礼をいただきました。

「一人暮らしの老人を囲む会」を開催 （三月四日）

「独り暮らしの老人を囲む会」は今年度の支部社協としての最後の行

お知らせ

昨年12月より、当地区の民生委員さんの変更がありましたのでお知らせいたします。

担当地区名	民生員氏名
雄飛ヶ丘町1・2・4町内	浅野 敏子
雄飛ヶ丘町3町内・昭南町	永盛 行信
雄飛ヶ丘町5・6町内	大川 英美子
雄飛ヶ丘町7・9・10町内	若山 文子
雄飛ヶ丘町8町内	北村 末子
入会町全域	今西 貞子
不動丘全域	酒井 きぬ子

（敬称略）

事となりました。たくさんの方々ご参加により、楽しく過ごしていただけたことと思います。ギター伴奏により懐かしの歌の全員合唱や新舞踊にマジックなど、多彩なアトラクションをまじえた行事となり参加された独り暮らしのお年寄りのみなさんもご満足いただけたことと思います。